

9 A案

教材名：灯台守の日野長兵衛

主題名：かけがえのない命

内容項目：D (19) 生命の尊さ

1 **ねらい** 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 灯台について知っていることを話し合う。

① 灯台は、何のためにあるのでしょうか。

- ・ 船の安全のためのものだよ
- ・ 船が港に戻ってこれるようになるための目印になるもの

◇ 映像資料を視聴し、教材を読んで話し合う。

② 「お父ちゃんを助けてくださいまし。」とすがりつかれた日野能登介は、どんな気持ちだったでしょう。

- ・ なんとか助けたいが、一体どうしたらいいのだろう
- ・ 自分はなんて無力なんだ

③ 松明を持って岩場に立ち続ける能登介は、どんな気持ちだったでしょう。

- ・ どうか、この火が船まで届いてほしい
- ・ 絶対に命を助けたい
- ・ 助かるまで消えないでほしい

④ なぜ270年もの間、日野長兵衛は火を守り続けたのでしょうか。

- ・ 大切な船乗りたちの命を守り続けたかったから
- ・ 松明のあかりによって船乗りたちの命を助けることができると信じていたから

◇ 教師の説話を聞く。

◇ 生命の尊さ（大切さ）を感じた経験を想起し、発表する。

⑤ 命の尊さ（大切さ）を感じたことはありますか。

- ・ 家で飼っていた犬がなくなった時、命のはかなさと大切さを感じた
- ・ 病気を治すために、お医者さんや看護師さん、そして病気の人にも必死で頑張っている様子を見て、命の大切さを感じた

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ 映像資料を視聴する前に「映像資料を見ましょう。今日は、この日本最古の灯台を作った人のお話です。」と紹介し、興味を持たせるとよい。
- ・ ④では、「もし、この火がなかったら、どうなるだろう。」と揺さぶり発問することで、人々の命を守り続けた日野家の思いの強さを感じ取らせる。
- ・ 教師の説話では、命に関わる教師の体験を伝えることで、⑤で経験を想起しやすくする。

4 参考資料

- ・ 映像資料集（小学校高学年）「9 灯台守の日野長兵衛」
- ・ 映像資料集2（小学校高学年）「9 灯台守の日野長兵衛」

9 B案

教材名：灯台守の日野長兵衛

主題名：人々の善意への感謝

内容項目：B（8）感謝

- 1 ねらい 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えようとする心情を高める。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 映像資料を視聴し、教材を読んで話し合う。

- ① 心に残ったところはどこですか。理由と合わせて発表しましょう。

- ・ 幼い娘と母が能登介にすがりつき、必死で助けを求めるところ 母娘のつらさとどうしてやることもできない能登介の気持ちが伝わってきたから
- ・ 高台の岩場で、能登介が松明を一生懸命に振りかざし、船が無事にたどり着くことができたところが心に残った 能登介の命を助けたいという強い思いが遠くの船に伝わったように感じて、すごいと思ったから

- ② 能登介が「この火を絶やさないことが、私の務めだ。」と思えたのはどうしてでしょう。

- ・ やさしい福浦の人々に恩返しするのが先祖代々の言い伝えだったから
- ・ 福浦の人々が自分の先祖を助けてくれたおかげで、自分は今、生きていられるだから、恩返しをしなければならないと思ったから
- ・ 福浦の人々のために自分ができることをすることが、自分がやるべき事だと思ったから

◇ 今日の授業で感じたことや考えたことを伝え合う。

- ・ 今の自分があるのは過去からたくさんの人に支えられてきたからだろうと改めて感じた
- ・ 家族はもちろん、先祖の方々にも感謝していきたい 先祖には感謝の気持ちを伝えることはできないけれども、日々の生活を精一杯過ごすことが恩返しなのではないかと思った

◇ 教師の説話を聞き、振り返りをノートに書く

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ 教材を読む前後に映像資料を視聴することで、「福浦の灯台」のイメージを持つことができるようにする。
- ・ ②では、「私の務め」という言葉から先祖の命が福浦の人々に助けられ、代々受け継がれてきたということに気付けるようにする。

4 参考資料

- ・ 映像資料集（小学校高学年）「9 灯台守の日野長兵衛」
- ・ 映像資料集2（小学校高学年）「9 灯台守の日野長兵衛」